

企 画 書

企 画 名	いちご狩り体験	
日 時	令和3年1月23日(土)	
場 所	かりゆしいちご園	
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の果物を楽しくいただく ・いちごの種類を知る ・集団での移動のルールを知る 	
時 間	内 容	備 考
8:00	順次登所	職員:5名 K.M.I.O.T 【持参物】 アルコール 手袋 体温計
8:30	オリエンテーション(スケジュール・注意事項等の確認、健康観察、排泄)	
8:50	出発	
9:30	かりゆしいちご園到着 感染症対策(アルコール消毒、手袋着用) 説明	
	40分間いちご狩り体験	
10:20	体験終了・記念撮影	
10:40	かりゆしいちご園出発	
11:10	当施設到着	
12:10	感想記入	
	※バス:近隣学童 ※運転手:地域の方に依頼 遅刻等が無いように児童・保護者に注意喚起する	

☆☆ 反省・子ども達の様子 ☆☆

<p>・子ども達に自分で摘んで食べるおいしさを味あわせることが出来た。いちごが苦手な児童も「おいしい！」と食べていた。</p> <p>・農園に常備されているリーフレットを見ながら「この苺は“しずくっこ”だ!」、「えー?“かおりの”じゃない?’などと種類を見比べながら食べていた。食に意識を向ける体験として大事な経験をさせてもらったように感じた。</p> <p>〈成功要因〉</p> <p>・友達同士で語り合い、いちごの特性を調べながら食について考える姿が、食べることへの意識付けとなり、自らの手で果実を摘む経験がとても大事だと実感した。</p> <p>・急きょ決定したイベントだったが、バスは近隣の学童で借り、地域の方が運転手を買って出してくれるなど、周囲からの協力で行うことができた。地域とのつながりが子ども達の支援にとって大事であることを実感した。</p> <p>・食べなれていない物を口にしようしない児童もいるため、食べることに抵抗がなくなる環境と整えることで食の幅が広がるように感じた。</p> <p>〈課題〉</p> <p>・企画してから当日までの期間が短く、農主との細かい打ち合わせが出来なかった。施設の設備等の把握は大事のため、事前下見を行う必要がある(トイレの数や休憩場所など)。</p>
--

2021年1月23日(土)
いちご狩りに行こう!

